

提携活動の状況

2023年1月31日

注意事項

この資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

以下に、事業展開上のリスク要因となる可能性があると考えられる主な事項を挙げますが、これらに限定されるものではありません。

- (i) 新製品開発の失敗
- (ii) 医療保険制度の改革による事業環境の変化
- (iii) 競合品や後発品の影響により、期待した成果を得られない可能性
- (iv) 第三者による知的財産の侵害等
- (v) 自然災害や火災などで、生産の停滞・遅延発生による製品供給の滞り
- (vi) 市販後の医薬品における新たな副作用の発現
- (vii) 為替レートの変動や金利動向

また、この資料には医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれていますが、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

提携実績（2010年以降）①

2023年1月23日現在

締結年月	商品名／開発コード (一般名)	効能 (薬理作用)	フェーズ (日本)	フェーズ (海外)	提携企業 (導入・導出/国)
2010年 9月	カイプロリス (カルフィルゾミブ)	多発性骨髄腫 (プロテアソーム阻害剤)	上市	上市	米国Amgen (導入/日本)
2011年 9月	コララン (イバブラジン)	慢性心不全 (HCNチャネル遮断薬)	上市	上市	仏Servier (導入/日本)
	パーサビブ (エテルカルセチド)	二次性副甲状腺機能亢進症 (カルシウム受容体作動薬)	上市	上市	米国Amgen (導入/日本)
	オブジーボ (ニボルマブ)	悪性黒色腫、非小細胞肺癌、 腎細胞がん、ホジキンリンパ腫、 頭頸部がん、悪性胸膜中皮腫、 尿路上皮がん、 結腸・直腸がん（dMMR又はMSI-H）、 肝細胞がん、胃がん、食道がん、 胃食道接合部がん、食道腺がん (抗PD-1抗体)	上市	上市	米国BMS (導出/日韓台を除く 地域)
	オレンシア (アバタセプト)	関節リウマチ、 若年性特発性関節炎 (T細胞活性化抑制剤)	上市	上市	米国BMS (導入/日本)
2013年 4月	オンジェンティス (オピカポン)	パーキンソン病における症状の日内変動 (COMT阻害剤)	上市	上市	ポルトガルBial (導入/日本)
2013年 10月	デムサー (メチロシン)	褐色細胞腫の カテコールアミン分泌過剰状態 (チロシン水酸化酵素阻害剤)	上市	上市	米国Bausch Health (導入/日本)

最も進んでいる臨床段階を記載

提携実績（2010年以降）②

2023年1月23日現在

締結年月	商品名／開発コード (一般名)	効能 (薬理作用)	フェーズ (日本)	フェーズ (海外)	提携企業 (導入・導出/国)
2013年 12月	フォシーガ (ダパグリフロジン)	2型糖尿病、1型糖尿病、 慢性心不全、慢性腎臓病 (SGLT-2阻害剤)	上市	上市	英国AstraZeneca (導入/日本)
2014年 7月	ヤーボイ (イピリムマブ)	悪性黒色腫、腎細胞がん、 結腸・直腸がん (MSI-H)、 非小細胞肺癌、悪性胸膜中皮腫、 食道がん (抗CTLA-4抗体)	上市	上市	米国BMS (導入/日韓台)
	ONO-4482 (Relatlimab)	悪性黒色腫 (抗LAG-3抗体)	I / II	上市★	
	ONO-4686 BMS-986207	固形がん (抗TIGIT抗体)	I / II	I / II	
	ONO-7122	固形がん (TGF-β阻害剤)	I	I	
2014年 7月	オパルモン (リマプロスト α-CD)	腰部脊柱管狭窄症 (経口PGE1誘導体)	上市	上市	Meiji Seikaファルマ (導出/タイ)
2016年 3月	ONO-9054 (Sepetaprost)	緑内障、高眼圧症 (FP/EP3デュアル作動薬)	III	II	参天製薬 (導出/全世界)

★：オブジーボとの配合剤

最も進んでいる臨床段階を記載

提携実績（2010年以降）③

2023年1月23日現在

締結年月	商品名／開発コード (一般名)	効能 (薬理作用)	フェーズ (日本)	フェーズ (海外)	提携企業 (導入・導出/国)
2017年 5月	メクトビ (ビニメチニブ) ビラフトビ (エンコラフェニブ)	BRAF変異悪性黒色腫 (MEK阻害剤・BRAF阻害剤)	上市	上市	米国Pfizer (導入/日韓)
		BRAF変異結腸・直腸がん (MEK阻害剤・BRAF阻害剤)	上市	上市 (ビラフトビ)	
		BRAF変異甲状腺がん (MEK阻害剤・BRAF阻害剤)	Ⅱ	－	
2017年 8月	ジョイクル (ジクロフェナクエタル ヒアルロン酸)	変形性関節症 (ヒアルロン酸と非ステロイド性炎症薬 化学結合剤)	上市	Ⅱ	生化学工業 (導入/日本)
2019年 7月	ONO-7913 (Magrolimab)	TP53変異陽性急性骨髄性白血病 (抗CD47抗体)	Ⅲ	Ⅲ	米国Gilead Sciences (導入/日韓台 ASEAN諸国)
		急性骨髄性白血病 (抗CD47抗体)	－	Ⅲ	
		固形がん (抗CD47抗体)	Ⅰ	Ⅱ	
		骨髄異形成症候群 (抗CD47抗体)	Ⅰ	Ⅲ	
		膵がん (抗CD47抗体)	Ⅰ	－	
		結腸・直腸がん (抗CD47抗体)	Ⅰ	－	

最も進んでいる臨床段階を記載

提携実績（2010年以降）④

2023年1月23日現在

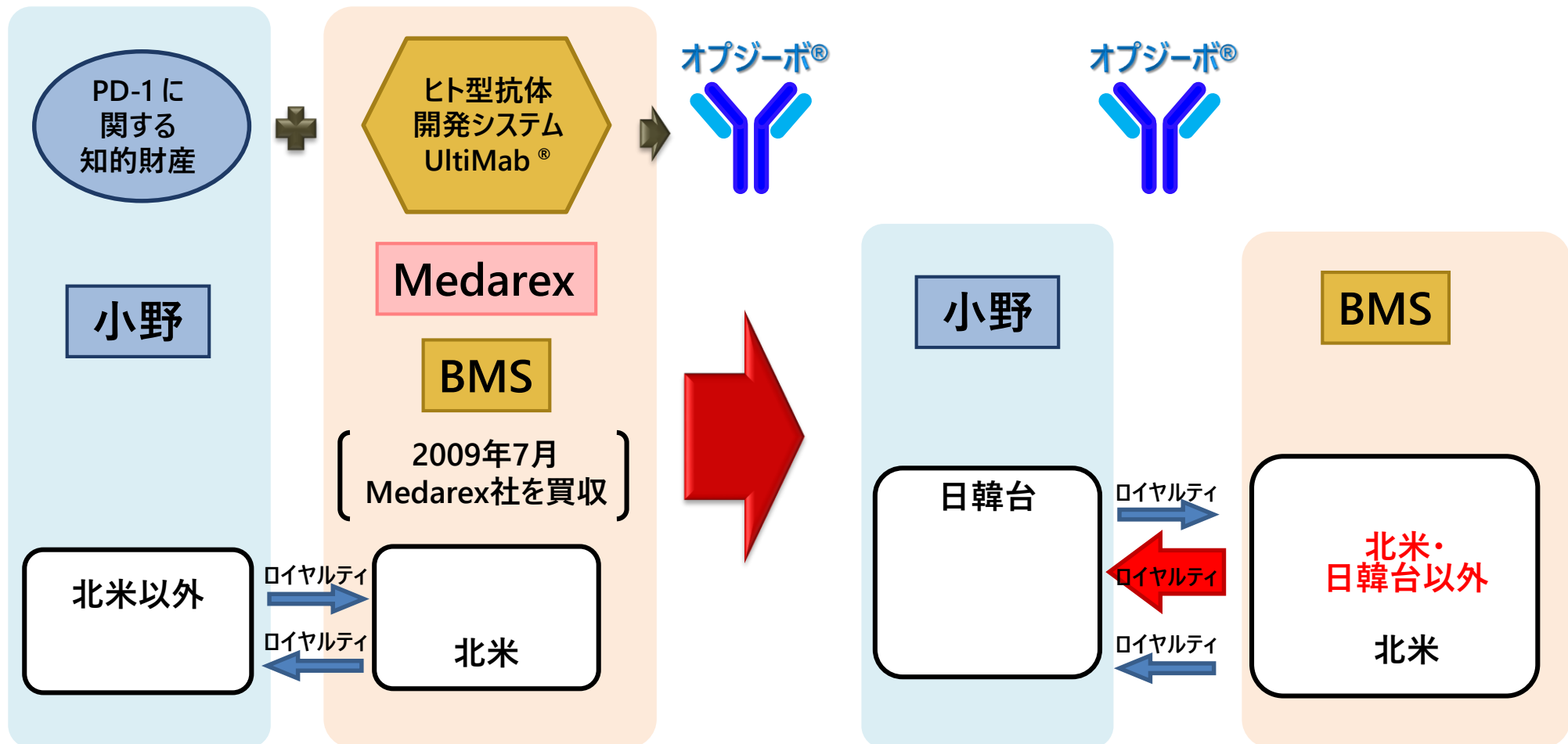
締結年月	商品名／開発コード (一般名)	効能 (薬理作用)	フェーズ (日本)	フェーズ (海外)	提携企業 (導入・導出/国)
2020年 10月	ONO-2017 (Cenobamate)	てんかん強直間代発作、 てんかん部分発作 (電位依存性ナトリウム電流阻害/ GABA _A イオンチャネル機能増強作用)	III	上市	韓国SK Biopharmaceuticals (導入/日本)
2020年 12月	ONO-7018 (CTX-177)	非ホジキンリンパ腫、慢性リンパ性白血病 (粘膜関連リンパ組織リンパ腫転座1 (MALT1) 阻害剤)	—	I	日本Chordia Therapeutics (導入/全世界)
2021年 2月	ONO-7119 (Atamparib)	固形がん (ポリADプリボースポリメラーゼ7 (PARP7) 阻害剤)	I	I	米国Ribon Therapeutics (導入/日韓台 ASEAN諸国)

最も進んでいる臨床段階を記載

米国BMS社とのオプジーボ®の提携

2005年5月 共同研究開始

2011年9月 提携拡大



米国BMS社との日韓台における戦略的提携

- 腫瘍免疫ポートフォリオを強化
- 併用療法の開発・販促を共同で推進

共同開発

小野

小野アセット

オプジーボ®
メクトビ®
EP₄拮抗剤

BMS

BMS アセット

ヤーボイ®
抗LAG-3抗体
抗TIGIT抗体
TGF-β阻害剤

+

共同販促

小野

小野アセット

BMS 現地子会社

BMS アセット

医療現場

小野 アセット

BMS アセット

小野

BMS現地子会社

開発費負担

利益配分

大部分

小野

BMS

一部

小野化合物単剤

小野 アセット

大部分

小野

BMS

小野

BMS

折半

併用療法

小野 アセット

+ BMS アセット

折半

小野

BMS

小野

BMS

一部

BMS化合物単剤

BMS アセット

一部

小野

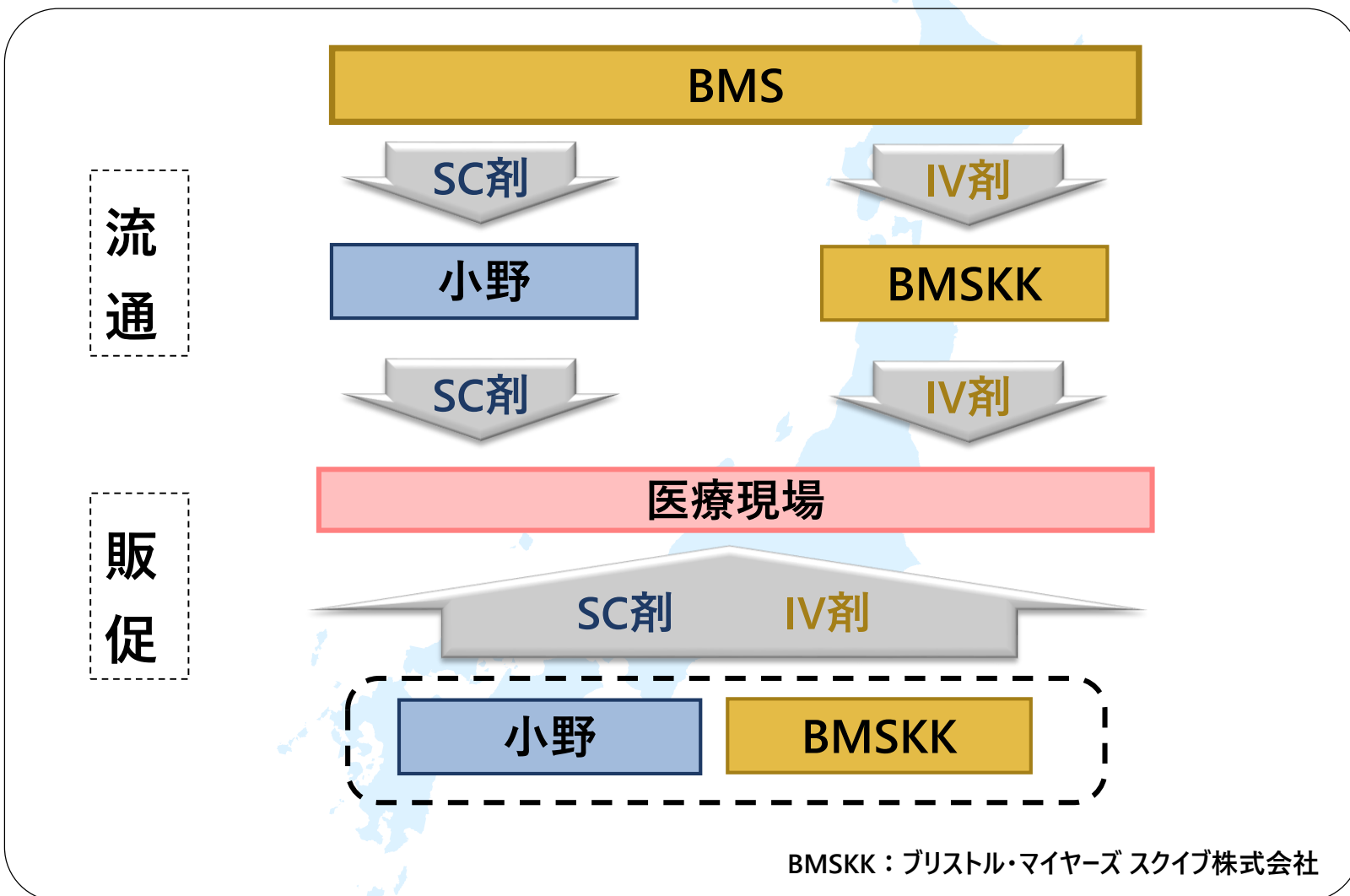
BMS

大部分

大部分

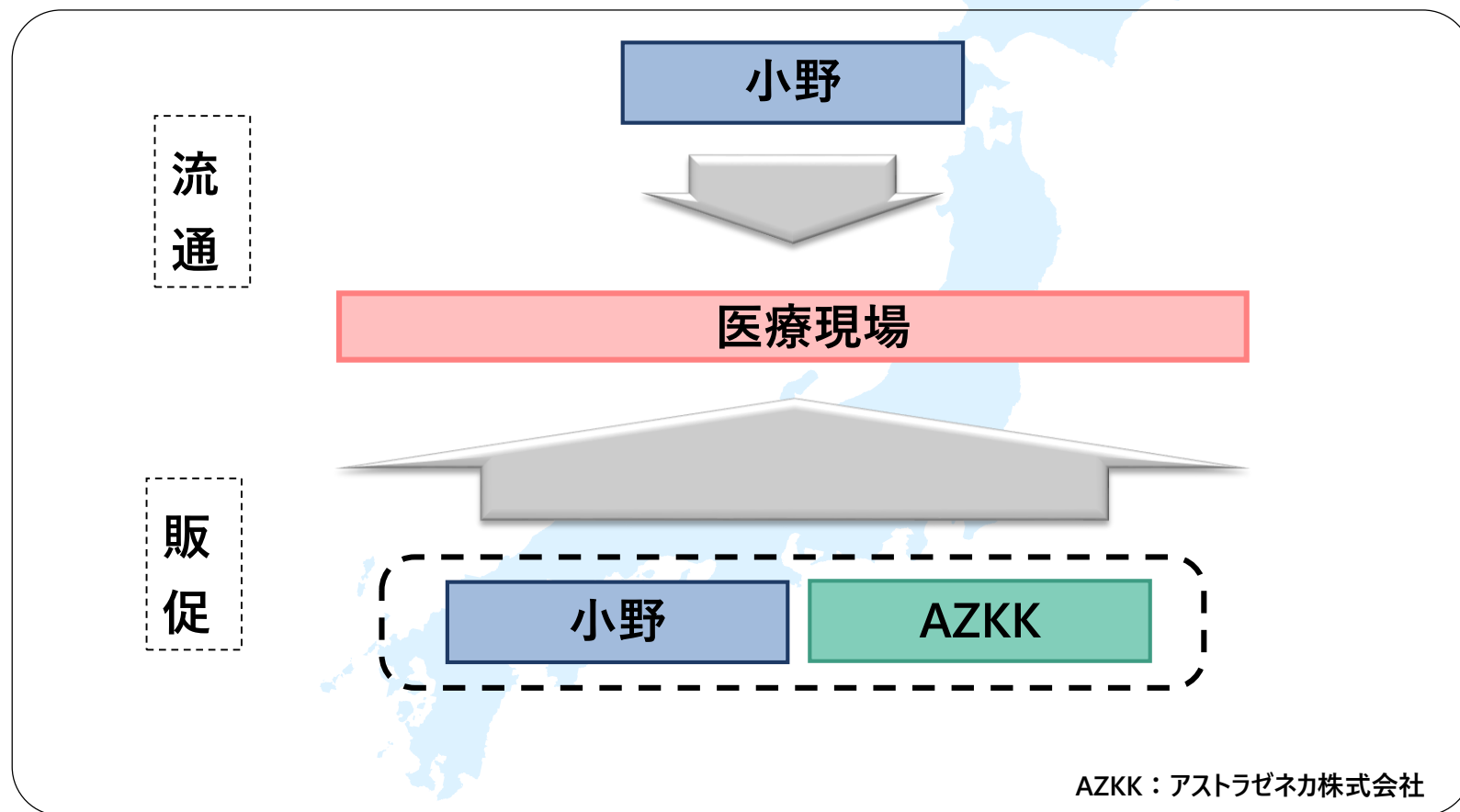
米国BMS社とのオレンシア[®]の提携

- 関節リウマチにおける炎症発生の上流を抑制する作用機序のバイオ医薬品



英国AstraZeneca社とのフォーシーガ®の提携

- 2型糖尿病治療薬として世界で最初のSGLT-2阻害剤
- 2019年に1型糖尿病、2020年に慢性心不全、2021年に慢性腎臓病に対する効能追加の国内承認取得





Dedicated to the Fight against Disease and Pain